- 2300モジュール・ファームウェアのバージョンアップは、以下の手順に従い行ってください。 ※2300遠隔計測システムのファームウェアのバージョンアップには、Smart Site Utility Pro 9768 のVer 4.30以降が必要です。
- 2300モジュールのファームウェアデータを更新 ホームページからダウンロードしたファイルを使用して、パソコンにインストールされている2300 モジュールのファームウェアデータを最新版に更新します。
 - -1. ホームページからダウンロードしたファイル「2300FirmUpdate」(または 2300FirmUpdate.msi) を、マウスでダブルクリックして実行します。



-2. インストーラが起動します。手順に従って進めるとインストールが完了します。



- PC と2300モジュールの接続
 PC と2300モジュールとを接続してください。
 Smart Site Utility Pro 9768 (以下SS-U)を起動して通信確認を実施し、バージョンアップ対象
 のモジュールが存在することを確認します。
- 3. SS-U を保守ツールメニュー表示モードにする手順

SS-U の [ヘルプ] メニューで [バージョン情報] を開き、下記〇枠内 (Copyright のあたり) を ダブルクリックします。

バージョン情報	
Smart Site Utility Version 4.70	
Copyright(C) 2004-2011 HIOKI E.E. CORPORATION. All rights reserved.	SmartSiteUtility
インストールされているオブション一覧	「」 「ヘルプスニュー(ごび2字の一ル)が表示される トライレキレオ
9768-02 LANモジュール メール オプション	
ОК	→

4. モジュールバージョンアップフォームを表示させる手順 再度SS-U の [ヘルプ] メニューで [モジュールのファームウェアバージョンアップ] を選択し、



- 5. バージョンアップの実施手順
- -1. [モジュールバージョンアップフォーム] でバージョンアップの対象モジュールを選択し、[開始]を押してバージョンアップを開始します。

※通信モジュール(2351/2352/2353/2354)のみバージョンアップする場合は、[指定モジュール] で[01(通信M)]などの"通信M"を選択します。

対象通信モジュール COM ID: 01 (2353 LANモジュール) モジュールのバージョンアップ情報 「 「 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」	モジュールバージョンアップフォーム	
モジュールのパージョンアップ情報	対象通信モジュール COM ID: 01 (2353 LANモジュール) 👤	
「	モジュールのバージョンアップ情報	
	開始	
・ 指定モジュール	○ 全モジュール ● 指定モジュール	
□ (3通信M) □ (3通信M) □ (3回信M) □ (2301) □ (2301)	01 G通信M) 01 G通信M) 01 G通信M) 01 (2301)	
	02 (2302) 03 (2303) 04 (2314)	
05 (2305) 31 (2331) 32 (2332)	05 (2005) 31 (2331) 32 (2332)	~

バージョンアップの対象を選択して[開始]を押します

- 6. バージョンアップ所要時間とバージョンアップ中の注意事項
 - -1. バージョンアップ所要時間

例)230xのバージョンアップを10台行うと、約5~6分かかります。

-2. バージョンアップ中の注意

(1) パソコンからデータが送信し終わると、モジュールのバージョンアップが始まります。 この間には、絶対に2300の電源を切らないでください。

(2)バージョンアップが終わると、2300モジュールは自動で再起動します。

以上